



聖徒のための情報誌

今月号の内容

- (1面) 全国の聖徒団を訪ねて 為久寺聖徒団「毘沙門大祭」
- (2面) 龍雲寺聖徒団「清道衆講習会」
- (3面) 全国の聖徒さん紹介 日蓮大聖人の歩まれた道 よろこびちゃんの質問箱
- (4面) よろこび法話 全国のよろこびちゃん

平成28年(2016年)10月1日(土) 10月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

全国の聖徒団を訪ねて

富山県玉蓮山真成寺聖徒団

玉蓮山真成寺は永正十四(一五一七)年の創立で、明年五百年という節目を迎える古刹である。谷川寛俊団長(真成寺第三十五世)は、創立五百年に向けて、十五年前から伽藍や庫裏などの整備を始めた。まず着手したのは百五十年以上を経た庫裏で、檀信徒が出入りしやすいように全体をバリアフリー化した。近代的な庫裏を新築し、各種研修・講習会、サークル等々への有効利用に大いに門戸を開き、地域住民から大変喜ばれている。次に、百年以上経た本堂屋根瓦の葺き替え、耐震性を考慮し、新たに銅板葺きへと一新させた。また今年度中には、永代供養墓の拡大再建、



百年以上経た本堂屋根瓦を銅板葺きへと一新

ペット 再建、供養墓 などの 建立を 予定し ている。 団長 は一五 百年と いう大 規模な 再建工 事の中 には、 ぎひ私 も仲間 に入れて くださ いと懇 願され る方も いらっ しゃい ました。 自ら布 施行を 願ひ出 る檀信 徒の方 からは、 有り難 く頂戴 し、共 に法悦 を味わ っています。 また、次 から次 へと事 業が展 開でき る理由 を伺う と、「これ は間違 いなく 御本仏 様、日 蓮大聖 人様、 そして 俱

初めての毘沙門大祭「ほうろく灸」

島根県 為久寺聖徒団

七月三十日、真夏のセミの音が大会の中、島根県・為久寺聖徒団(岡田法弘団長)に於いて初めての毘沙門大祭が行われた。

当山の毘沙門天像は団長上人が二回目の荒行で勧請してきた戦いの神・勇気の神様である。また、眷属(使い)は百足(ムカデ)であり足が多いことから「おあし(銭)」が沢山あるとして商売繁盛・金運を呼ぶと



霊験あらたかな毘沙門天様



為久寺オリジナルの「ムカデパン」

「ムカデパン」が沢山あるとし、この「ムカデパン」が好評であった。これからは霊験あらたかな毘沙門天様が、俱生神月守を着帯する聖徒の皆さんを、さらに幸福への道に導いていくことであろう。

たいと願ひ日蓮宗伝統の「ホウロク灸」祈禱も行った。聖徒の方々は「初めてのホウロク灸で体がすっきりして心身共に元気になりました。また護符でいたいた為久寺オリジナルの「ムカデパン」も栄養満点で、とても美味しく、これで暑い夏を乗り越えることが出来ます。また来年も楽しみます」と大変好評であった。



「ホウロク灸」祈禱



地元での一大イベント「冬至水行」

生神様のご守護の賜であると確信しております」と一言。毎朝五時のお勤めは真成寺の伝統であり、大太鼓の前に設置されている携帯ラジオの時報と同時に唱題太鼓が暗夜の静寂を打ち破って鳴り響き、町内近隣の人達の目覚まし代わりになっている。十数名の檀信徒が日参され、特に毎月一日の盛運祈願会には、早朝にもかかわらず大勢の参詣者で賑わっている。参詣者の半分が他宗派の人達でもある。団長は「このように一秒の狂いもなく、毎朝のお勤めを行っているお寺は全国で一番と自負している」とのこと。更に冬至前の日曜日に開催されている「冬至水行祭・ほしまつり」は毎年盛況で、昨年は総勢百五十三名の水行参加者があった。最年少は団長の孫(五歳)の男子。最年長は初回から一度も欠かさず参加されている七十九歳の女性。また参加者は全国からも申込があり、東京や横浜の関東圏、京都や大阪の関西圏をはじめとする名古屋や九州地方からの参加者もある。ネットを拝見して申し込んだとのことで、現代文明の利器を感じると共に、世の中には熱い気持ちを持つ若人があるものだとも頼もしくもある。今年九回目を迎える水行祭には、本年四月に就任された市長や、市会議長からも「ぜひ私も参加させて下さい」との確約を得ている。県内プロスポーツチームの面々、商工会や青年会議所の方々、各種団体のサークル、グループからの参加問い合わせが既に入っており、今年定員は二百名とした。地元での一大イベントとなり、毎年テレビ新聞雑誌等々、報道関係者に紹介されている。真成寺の益々の発展が期待されている。



「冬至水行祭・ほしまつり」ポスター

津軽宇田山 聞法寺



10月23日 午前9時より
「日蓮大聖人御会式」
毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」

〒030-1403
青森県津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
佐藤真一さんご家族



毎月1日午前10時 盛運祈願会
10月23日(日)
納骨並びに納位牌堂諸精霊総供養。

北海道妙正寺聖徒団

〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

妙頭寺
本山 佐野



いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

妙頭寺
本山 佐野



天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!

●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙頭寺建設委員会

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
<http://www.sano-myokenji.jp>

感通寺



日蓮宗霊断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

一年に一回の聖徒みんなで仏様の勉強会 宮崎県都農町龍雲寺聖徒団 第七回清道衆講習会

七月十二日、宮崎県都農町龍雲寺聖徒団に於いて濱田壽教講師を迎え、第七回清道衆講習会が開催された。

参加人数は約三十名、講義では濱田先生が、日蓮大聖人のご生涯、九識靈断法・俱生神月守の有難さをテキスト「よろこび」に添って、ユーモアを交えながら優しく分かりやすく講義をされ、泣いたり笑ったりの充実した感動の講習会となり、感動の一日となった。次に受講生の感想文を紹介する



矢野 光代さん

広島県常國寺の濱田先生のわかりやすく、ユーモアあふれる講義本当にありがたいございました。いろいろな縁を受けて「今」があることを実感しました。

日蓮大聖人伝では、「変化の人」を学び、伊豆法難の時に大聖人を救われ、それが縁で「信者」になられた船守弥三郎さまの話でした。

私も、誕生寺に参拝し、清澄寺では旭が森で日蓮大聖人銅像のお姿に感銘を受けたことを思い出しながら聞いていました。

小松原鏡忍寺に参拝した時も法難に遭いながら弟子に助けられた話を思い出しました。



濱田壽教講師



熱心に講義を受ける受講者



水本 深雪さん

「大聖人は法難の度毎に法華經一文一句が現実には違わざることを色説によって確信、法悦の中に行善菩薩としての自覚を深められました」とあるように、宿縁・結縁が強盛なるゆえに龍雲寺を守れば、未来に仏の果徳を成就せんこと疑いなしとなるように精進しようと思えました。

第七回目の清道衆講習会、前日までは雨、当日も大雨の予報が見事に外れ、参加者の笑顔絶えぬ内に始まりあつという間の三時間、中身の濃い教えを聞き身に染み渡り、私事、昨年未より摂食障害を再発させ、自身を攻め続ける日々を送る中でした



児玉ウメ子さん

が、お題目を唱え、俱生神月守を着帯する事の大切さを学びました。今までの人生で色んな事があつたけど、私に色々なことを気付かせる為なのだと、気付かされました。今回の講習会に参加出来ました佛縁有難う御座いました。その日の夕刻、日向灘に、見事な大虹が二重に翔つており忘れへない一日となりました。

濱田先生には遠方より私達の講習会のために龍雲寺に来ていただき、ありがとうございます。また講習会の雰囲気がとてもよく、内容も分かりやすく、面白くお話を下さりました。日蓮聖人の偉大さ、幾度のご法難に遭われても、南無妙法蓮華經を唱えられ、不思議な事が起きお助かりになりました。本当にお題目の素晴らしさを知りました。身延のお山に参拝する度に、日蓮聖人の辿られたお寺やご法難に遭われた場所など行かせていただき、講習会を受けて行くのでよくわかります。人に優しくすることが自分には心穏やかに生きることが一番だと思えます。濱田先生、本当にありがとうございます。



参加者全員で記念撮影

伝統の海施餓鬼法要

宮崎県川南町 智浄寺聖徒団

八月十六日、宮崎県川南町・智浄寺聖徒団(片寄智雄団長)に於いて、伝統の海施餓鬼法要に併せて一日伝道が開催された。

法要前に開催された一日伝道で吉田憲由講師は、お施餓鬼のいわれと海施餓鬼の水向供養の大切さを優しく説明をされ、大勢の人たちと心を一つにする異体同心の素晴らしさを熱く語った。

また昔、魚が取れなかった村の人達が心を一つにしてお題目を唱え祈り続けたことで、魚が返ってきて息を吹き返した村の話をして、お題目修行をひたむきに続けることの大切さを語った。



伝統の海施餓鬼法要



精霊舟のお焚き上げ

聖徒の大半が漁師である智浄寺聖徒団では、身近な話に生き生きしながら法話に聞き入っていました。お施餓鬼法要の後にはみんなで精霊舟を海まで運んで、お焚き上げをしてご先祖様との別れを惜しんだ。

初めて寺子屋が開催される

島根県 妙蓮寺聖徒団

八月二十七日(土)、島根県・妙蓮寺聖徒団(田平義成団長)において、初めて寺子屋が開催された。前日より雨が続き、当日も不安定な天気の中での開催となったが、団長の熱い想いが諸天善神に通じ、外での活動ができるまで回復した。



参加者みんなと記念写真



本堂にて写経・写仏をしている参加者たち。安ではあつたが、総勢三十五名の親子の参加を得、盛大に開催された。

初めての開催であつて、スタッフ一同、参加者が集まるのかわらぬ。水遊びを楽しみ、世界文化遺産・石見銀山の町並みを散策したりと、大変充実した内容となった。参加者の一人は「来年も参加しますので、是非続けてください。楽しみにしています。」と、主催者にとつて一番嬉しい言葉をいただいた。団長は「多くの方が参加してくださり、心より感謝しています。来年も開催します！」と語り、大変有意義な一日となった。

夏の寺子屋が開催される

和歌山県 安楽寺聖徒団

七月二十四日(日)、和歌山県・安楽寺聖徒団(吉野俊幸団長)において夏の寺子屋が開催され、四十名の小学生が参加した。平成十八年より年に数回開催され、二十六回目の開催となった。夏の寺子屋の名物は四十人以上が同時

に楽しめる流しそうめん、そうめん以外にトマトや冷締めかんが流され、大きな歓声に包まれた昼食となった。楽しい昼食の後はプチ修行が行われ、法華經とお題目が大きな声で唱えられた。終了後に団長は「今回はスタッフの確保に苦労しましたが、子どもたちのあの笑顔を見ると、これからも頑張つて続けようと思えました。」と語り、笑顔と歓声に包まれた一日は幕を閉じた。



長〜い流しそうめん



プチ修行

全国の聖徒さん紹介

龍雲寺聖徒団
極真空手
世界大会四位・中量級日本チャンピオン
進 裕治さん



俱生神月守を毎月大切に着帯し、お題目を信仰するようになつてから、色々なことが変わり人生が拓けていきました。親・兄弟・友達に心より感謝できるようになり、今置かれてある環境を受け入れられるよう

になりました。試合の時にはサポーターの中に月守を入れて出場するようになり、「一人じゃない」という心強さと勇気を持てるようになりました。お蔭様で年々歳々成績が上がり、全国大会で優勝し、世界大会では四位となりました！

毎年、中山法華経寺の荒行堂に道場の隆昌を祈願に行つていますが、ご加護のお蔭で二件目の道場を開くことができました。心から感謝の気持ちでいっぱいです。これからもすべてのご縁に感謝し、俱生神月守を着帯しお題目を唱え精進していきます。

よろこびの質問箱



よろこびちゃん

お寺の門は山門と呼ぶのが一般的だと思ふのだけど、身延山の大きな門はどうして「三門」と呼ぶの？

とつても良いところに気付いたわね。確かに一般的にはお寺の門は山門と呼ばれるけど、規模の大きな寺院は三門と呼ぶところが多いのよ。

身延山の三門は、日本三大門の一つともいわれて、間口十三間、奥行五間、高さ七丈二(二十一メートル)もあるんだって。とつても大きいわね！さすがは日蓮宗の総本山ね！



う名前はい三解脱門の意

味で、悟りに至る為の三つの要素、空(物事にこだわらない)、無相(見かけで差別しない)、無願(欲望のまま求めない)を現しているんだって。つまり、悟りを求める人たちが通る「仏さまに近づく門」という意味なのね。今年も身延大会一日目(十月九日)の夕方は三門の下に集まって、聖徒のみんなでお題目を唱える唱題行・千燈供養が開催されるわ。日蓮大聖人のお会式の月に、このありがたい門の下でお題目を唱えられるなんて、とつてもとっても幸せなことなのね！

第六十一回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学(その十四)
靈断院教学部長
小泉 輝泰

「上宮太子と申せし人、漢土より始て佛法渡させ給て、其より以来于今七百年の間、一切経並に法華経はひろまらせ給て、上一人より下万民に至まで、心あらむ人は法華経を一部、或は一巻、或は一品持て或は父母の孝養とす」
(松野殿後家尼御前返事)

前回は余談がだいぶ長くなつて(と言うより、余談だけで終わつて)しまいました。今月はようやく本題の四天王寺のお話です。

高野山よりの帰路、和泉へ足を伸ばした蓮長は、八宗兼学の学問道場として名高い四天王寺を訪ねます。八宗とは、三論、実成、法相、俱舍、華嚴、律のいわゆる南都六宗の古流学派に、当時としては比較的新興の天台、真言を加えた八つの宗派を指します。「八宗兼学」です。その教えがすべて学べる学問道場を意味していま



そう思えば、わずかな期間とはいえ四天王寺での滞在は、八宗兼学の大事さをもとより、聖徳太子の魂にふれることの出来た、素晴らしい日々であったこととでしよう。しかしその反面、八宗兼学を謳う故に諸宗にこだわらない四天王寺の学風が災いし、当時の流行であった浄土信仰が山内には蔓延してしました。誰が弘めたものか、四天王寺の西門は極楽浄土に通じる門との噂が流れ、彼岸の頃ともなればその門から沈む夕日を拝むと、多数の信者が参詣する有様であったといわれています。この国に初めて法華経を弘めた人として大恩人である太子所縁の寺が、何の根拠もなく西に沈む夕日を拝む迷信の大衆で溢れかえる様を、はたして蓮長はどのような思いで見つめていたのでしょうか。

といたことではないと思われ。四天王寺は、言わずと知れた上宮太子、すなわち聖徳太子によって推古天皇元(五九三)年に建立された、我が国最古ともいわれる古刹中の古刹です。

日蓮大聖人は、この国で初めて佛教を重んじ、国作りの基盤としてその教を弘めることに尽力された聖徳太子を、殊のほか尊崇されておられました。大聖人が弟子檀那に対して度々申される「異体同心」の精神は、すなわち聖徳太子の「和を以て貴しとなす」と同義であるといえます。そして、その精神が高々と掲げられた十七条の憲法によって、初めての法治国家の形成を目指した太子の志は、大聖人が生涯にわたって説き続けられた「立正安国(正法を以て国を安んず)」の思想に、大変大きな影響を与えられたこととでしよう。



つながる通信員!

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月紹介していきます。



No. 18
東京都
林 重仁
清隆寺聖徒団

趣味はスポーツと書道です。立正大学アメリカンフットボール部のコーチをしております。学生に当たり負けないように日夜トレーニングに勤しんでおります(笑)
書道は師範になるために勉強中です。よろしくお願ひいたします。

秋の身延山でお会いしましょう!
第51回全国聖徒団結集身延大会
平成28年10月9日(日)・10日(祝)



身延大会(第五十一回大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、「日蓮宗霊断師会・九段事務所」までお問い合わせ下さい。

ほつと絵手紙
宮崎県の大橋厚子さんからの絵手紙です。ありがとうございました

身延山下町マップ 身延山をみんなで散策しましょう!

よろこび法話

感謝の気持ちとともに



長野県飯田市
経蔵寺聖徒団 団長
日蓮宗霊断師会 教務部
望月 龍賢

私の住む長野県南部は、諏訪湖を源とする天竜川の流れた伊那谷と呼ばれ、西には木曾山脈(中央アルプス)、東には赤石山脈(南アルプス)がそびえる緑豊かな地域です。

内陸性の気候で高地であることから冬の冷え込みは非常に厳しいですが、比較的雪は少なく冬場の日照もあり、長野県の中では春の訪れの早い地方でもあります。

梅、それから桜と、春を待ちわびて木々が花を咲かせる時期になると冬の厳しさ故に本当に心が軽くなる心もちとなります。

当山の境内の三本の桜は、いずれも樹齢二百五十年ほどになる古木ですが、毎年

年変わらずに見事な花をつけてくれます。

暖冬で開花が早まりそうだと耳にする年も、今年は冬が厳しかったから花が遅いと聞く年も、さほど変わらず決まった時期に花を咲かせます。

四月一日の盛運祈願会では、その桜が八分咲き位の年が多く、お勤めの後には回廊にお茶を用意し皆でお花見を楽しみます。その席で聖徒の方からこんな話をしていたきました。

「うちのアーモンドの花が咲くとお寺さんの桜が咲くの。だから、庭先のアーモンドの花をみるとお寺に桜を見に行こうって思うの。ほんと、毎年そうなの。不思議よね。」

何気ない会話で気にも留めてなかったのですが、その年の五月中頃、地区のお寺に葬儀のお手伝いに行った時のことです。とても印象に残る会話がありました。

伊那谷の葬儀は、通常、菩提寺のお導師さまの他に三人もしくは四人の伴僧さんでお勤めします。そして、葬儀の前後に食事があり、お相伴と呼ばれる接待係の方と席を同じく頂



きます。そんな席でのこと。

お相伴さんが伴僧の一人に尋ねました。

「今年の牡丹はどうかね? 早いかね?」

「うーん、少し早いかなあ」

と牡丹寺として地域で知られたお寺のご住職が答えます。続いて、そのご住職がもう一人の伴僧さんに話を向けます。

「あじさいはどうかね?」

答えるのはあじさい寺の若上人です。

「例年どおりですかね。でも、不思議ですよ。時期が来れば毎年同じように咲くのですから。花は気温だけじゃなくて、地中の温度が一定の温度になると花芽をつけるようになるんですってね。」

お相伴さんが

「それじゃあ根が温度をみてるんだなあ、すごいもんだなあ」と言う

「やっぱり根っこって大事なんだねえ」

お導師が最後におっしゃいました。

四季折々、穏やかな時ばかりでなく、ときに自然は厳しい姿をみせます。そうであっても、花は決まった時期に同じように美しい花を咲かせます。当たり前ですが、すごいことです。

帰りの車を運転しながら、「根っこが大事

か」と思い起こし、同時に春桜の木の下の聖徒さんとの会話もよみがえってきました。日頃何事もなく過ごしていると気にも留めずにいることですが、これまた何気ない会話で「はっ」と考えさせられた時間でした。

「花は根にかへり真味は土にとどまる」

(報恩鈔)

私たちの「根っこ」はどこにあるでしょうか。見えないものへ想いを寄せているでしょうか。

「有り難い」という気持ちこそが信仰の本となるものです。ご報恩の気持ちとともに、そして、ご報恩の気持ちを忘れることなく、一緒にお題目をお唱えしてまいりましょう。

本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol. 35

長野県北佐久郡軽井沢町
妙順寺聖徒団

さくま ななえ
佐久間 菜苗ちゃん (2さい)
平成27年6月10日生まれ

お返事は「は〜い」
家族の愛情をいっぱい受けて、
すくすくと成長しています!



全国のよろこびちゃんを募集しています!

砥森山
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗霊断師会会長
利生寺聖徒団団長

末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗議員
正蓮寺聖徒団 団長

大塩 孝信

〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288